



12月号 令和4年11月30日発行

# 荏田小たより

横浜市都筑区荏田南町6-9-4番地 [TEL911-0149]  
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



## 荏田っ子まつりや体験的活動を通して感じたこと

～人とのふれ合いや実社会から学ぶことの大切さ、緊張感・成就感～

校長 伊藤 智樹

コロナ禍でこの3年ほど実施していなかった行事がこの11月には、徐々に復活し、開催することができました。6年生の国会見学、4年生の都筑区児童音楽会、荏田っ子まつりなどです。校外学習も10月～11月にかけて実施しました。本日11月30日は5年生八景島シーパラ・日産工場見学を実施しています。これらの行事開催につきまして、日頃のご家庭での健康観察や体調管理、感染対策にご協力いただきありがとうございました。12月も1・2年生の遠足（バス使用）、4年生箱根校外学習などを予定しています。



【4年都筑区児童音楽会】

コロナ禍前のように徐々に教育活動が戻り感じたことがあります。「人とのふれ合いや実社会の具体的な事象から学ぶことの大切さ」と「緊張感と成成感は子どもたちの成長に必要な不可欠なものである」ことです。



【6年荏田のまち調べ】

6年生は、荏田っ子まつりで荏田の歴史について調べ、発表しました。調べ学習の当初は、iPadや荏田小の周年行事等の資料をもとに活動を進めていました。限られた資料では、子どもたちも大変でした。

また資料では事実は分かってはいても当時の人々の思いや願いに迫ることは難しいです。そのような中、学校地域コーディネーターでもあるHKさん、HTさん、SSさんの3名と学校支援ボランティアのMYさん、荏田っ子音頭の制作者でもあり本校の和太鼓の指導をして頂いていたNさんの計5名の方に6年生の学習に関わって頂きました。子どもたちの質問にも丁寧に

に答え荏田小にかける思いを熱く語ってくれました。HKさんは昭和30年代の荏田のまちの大型ジオラマを学校に持ってきてくださり、見せて頂きました。まちの様子が地形的にも一目で実感することができました。まちの「ひと・もの・こと」から学ぶことの意義と大切さを改めて実感することができました。

「あー緊張する！」この言葉は4年生が区音楽会の事前のお披露目として3年生に発表した時のものです。指導にあたった先生からは「**今までの中で一番良かったです。**」という言葉。3年生からも4年生に心のこもった感想や言葉話を話していました。それを聞いている4年生の満足気な表情が印象的でした。区音楽会当日は会場に入るなり「**わあーすごい！きれいで広い会場！他の学校の人たちも来ているよ。緊張してきた！**」と緊張感もマックスになったようでした。練習を積み重ね精一杯の力で音楽会本番の発表をやり遂げることで、成就感が得られたと思います。荏田っ子まつりでの各学年の学習発表会も同様だと思います。



【4年 区音楽会事前発表】



【荏田っ子まつり 開会式 和太鼓】

「緊張感と成就感」。この経験が子ども一人ひとりを成長させていきます。本番のもつ独特の緊張感と雰囲気、そしてそこから得られる成就感は成長には欠かせないものです。コロナ禍で教育界のデジタル化は進みました。一方で「**人とのふれあいや実社会におけるリアルな体験**」を教育活動の中に位置付けることの大切さもあらためて実感しています。「荏田っ子のためにできることは何か」という問いをもちながら教育活動をすすめていきたいと思っています。